

夏休みの
自由研究課題にも
ぴったり!

昆虫みらいプロジェクト in まつもと



夏の 大昆虫食 まつり



昆虫食を、楽しく学べる、体験できる

信州は、おいしい資源大国だ。

地球規模の食糧難の時代において、古来、信州で広く親しまれてきた

「昆虫食」が問題解決のカギになると私たちは考えています。

昆虫食に関する多彩なゲストによるライブパフォーマンスや、映像作品上映、展示、
昆虫食メニューを味わう会(有料)など、楽しくマジメに「昆虫食」について考える1日です。

2022 7.2 土

14:00-19:00 (13:00開場)

※19:00全体終了

会場

信毎メディアガーデン

松本市中央2-20-2 ※駐車場はありませんので周辺の有料駐車場をご利用下さい

入場料

入場無料

(昆虫食メニューを味わう会のみ有料)

要事前申込

お申し込みはこちら



主催 / 信濃毎日新聞社、昆虫エネルギー研究所

後援 / 信州昆虫食コンソーシアム、信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送、FM長野、MGプレス

お問い合わせ 信濃毎日新聞社 ビジネス開発室 Tel.026(236)3075 newbiz@shinmai.co.jp

夏の大昆虫食まつり

Time Schedule

14:00-14:30

短篇映画上映 @1Fホール

I.『現代版 城崎にて』(30min.) 製作:太田信吾監督



14:30-15:00

オープニングパフォーマンス @1Fホール

「昆虫食クイズ」

キャファールさとう×竹中香子(「現代版 城崎にて」出演)



15:05-15:45

短篇映像作品上映 @1Fホール

II.『エディブル・リバー』(10min.)

“ざざ虫ふりかけ”を発売し話題となった上農生の取り組みを追ったドキュメンタリー[製作:太田信吾監督]

III.『メイキング・オブ・AMAZON CACAO×INSECT 蝗<イナゴ>チョコレート』(10min.)

アマゾンの料理人・太田哲雄シェフと信毎担当者による昆虫食商品のメイキングドキュメント[製作:太田信吾監督]

IV.『イナゴピック2021』(5min.)

各地の無農薬田で開催されている“イナゴ採りイベント”を描いたショートドキュメント[製作:太田信吾監督]

V.『小さな救世主の物語』(12min.)

食糧難や水不足などの問題に立ち向かう“救世主”たちの活躍を描いた絵本アニメーション[制作:信濃毎日新聞社]



— 休憩 —

16:00-16:30

対談「Wオオタの昆虫食トーク」 @1Fホール

アマゾンの料理人・太田哲雄シェフと、映画「解放区」の太田信吾監督による、昆虫食をテーマにした対談「エディブル・リバー」の上農生も登場! [進行:キャファールさとう]



17:30-18:30

“アマゾンの料理人”

事前予約申込制

オオタ流の昆虫食メニューを味わう会 @3Fキッチン

太田哲雄シェフによる昆虫食レシピを味わえるワークショップ。先着15名様限定(参加料お一人4,000円) お申し込みはコチラ▶



13:00-19:00

展示・販売 @1Fホールエントランス

展示パネル「小さな救世主の物語」「救世主を、救おう」[信濃毎日新聞社] / 展示会「タイの昆虫食」[キャファールさとう]

昆虫食販売コーナー「上農高「ザザティンふりかけ」、信濃毎日新聞社 PICO SALVATORE商品 / 書籍など」

出演者プロフィール



太田 信吾 氏

1985年生まれ。千曲市出身。早大卒。映画監督。処女作「卒業」でIFF2010優秀賞・観客賞を受賞。『わたしたちに許された特別な時間の終わり』が世界12カ国で配給される。他に「解放区」(18年劇場公開)など。俳優として舞台、ドラマ、バラエティにも出演多数。2017年にはソウル市立美術館にて初のインスタレーション作品を発表、ジャンルの垣根を超えて、創作活動を行っている。近年の監督作品に「城崎にて」、舞台作品に「最後の芸者たち」のほか、テレビ番組「情熱大陸」(MBS)、「フードトラックー牽羊みなみ」(WOWOW)の演出も手掛けている。



太田 哲雄 氏

1980年生まれ。白馬村出身。料理人を志し、19歳で海外へ。「世界一予約の取れないレストラン」と言われたスペイン「エル・ブジ」や世界のベストレストラン50に選ばれたペルー「アストリッド・イ・ガストン」などで経験を積む。現在は軽井沢「LA CASA DI Tetsuo Ota」のオーナーシェフとして信州の食材を使った料理を提供する傍ら、ショコラティエとしても国内におけるカカオ文化普及の第一人者の存在感を放っている。著書に「アマゾンの料理人」(講談社)がある。



キャファールさとう(本名:佐藤 裕一) 氏

1974年生まれ。大阪府岸和田市出身。昆虫食研究者。NPO・昆虫エネルギー研究所代表。96年より海外を放浪する中で昆虫食に出会う。昆虫食の可能性を感じ、2008年から昆虫食普及活動始める。11年から「関西虫食いフェスティバル」を開催。映画「現代版 城崎にて」(22年公開)で俳優デビューを飾る。



竹中 香子 氏 (トークゲスト)

2011年に渡仏し、日本人としてはじめて仏国立高等演劇学校の俳優セクソンに合格、16年、仏俳優国家資格を取得。パリを拠点に、仏国立劇場を中心に多数の舞台に出演。17年より日本での活動も再開。大学でフランスの演劇教育や俳優のハラスメント問題に関するレクチャーを行う。21年、仏演劇教育者国家資格を取得。近年の出演作に、市原佐都子作・演出「蝶々夫人」、太田信吾監督作品「現代版 城崎にて」などがある。



直井 恵 氏 (司会進行)

上田市出身。国際開発 / 国際関係学を専攻後、フィリピンで活動する国際協力NGOや環境系NPOで勤務。2007年にUターンし、多様な民族や文化を認め合える社会の実現に向けて、映画や音楽、祭り等で交流する市民企画を実施。15年、SGH/WWLの認定を受けた上田高校の海外交流アドバイザーに就任。17年からNPO法人上田映劇の理事として、100年の歴史を持つ映画館の再起動に奮闘。現在は「うえだ子どもシネマクラブ」、演劇交流事業「民話と演劇FOLKTALES」等にも関わっている。



COCON MIRAI®は信濃毎日新聞社が運営する、昆虫食=未来食の魅力を発信するアンテナショップです。



PICO SALVATORE®はアマゾンの料理人・太田哲雄シェフと信濃毎日新聞社の共同開発による昆虫食のブランドです。